IEEE802.11b+g有線/無線LAN両対応ネットワークカメラ

CS-W03G

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです｡必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウエア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にご利用いただくために

⚠警告

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。
医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。
交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。
本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DSOF 4

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。

・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利〈プライバシー保護〉に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
・不正に侵入される
　悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがっておこなってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。

目次

1.はじめに

1 概要

本製品はイーサネットに接続できるネットワークカメラです。
また、IEEE802.11b/IEEE802.11g準拠の無線機能を搭載しており、
無線ネットワークに直接接続することもできます。

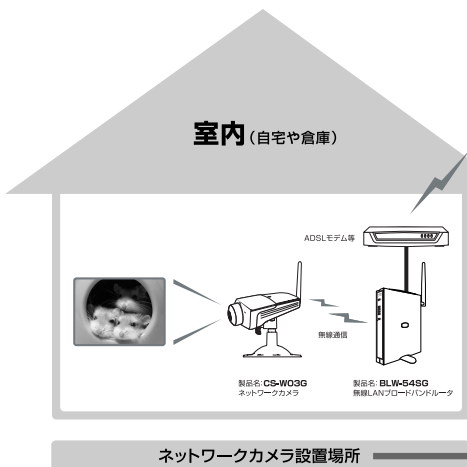
本製品を使って、リアルタイムに映像を配信、遠隔操作することができます。Webブラウザを使って、インターネットやイントラネットを経由して、いつでもどこからでも、さまざまな場所に設置したネットワークカメラの映像をテレビ中継のように見ることができます。

本製品を用いてできること

1.無線カメラ

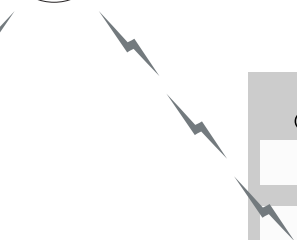
ネットワークカメラは無線通信ができるので設置場所を自由に変えられます

2.ユーザー認証

パスワードを知っている人だけに動画を見せることができます

3.リアルタイム

テレビ中継のように動画が美しく見られます

4.拡張性

弊社のVPNルータ（別売）と組み合わせると、通信中のデータを盗聴されても動画を見ることはできません
（高いセキュリティー機能の追加が可能）

2 特長

●簡単設定・モニタリング
パソコンのWEBブラウザに本製品のIPアドレスを入力して映像を見ることができ、WEBブラウザから簡単に設定することができます。

●最大4台のカメラを接続可能
付属のユーティリティソフトCS Series Viewerを使うことで同時に最大４台のカメラを監視できます。管理者は最大64人のユーザーを登録し、システム管理のアクセス権を指定しコントロールできます。

●動態検知機能・アラーム機能
CS Series Viewerを使ってカメラ映像の変化を検知し、録画を開始できます。(動態検知)
また、動態検知をビープアラームやメールで通知できます。
(アラーム機能)

●スケジュール設定機能
特定の曜日・時間帯、あるいは日付を設定し、録画の開始・終了をコントロールできます。

●録画容量制限
録画ファイルの最大容量が設定できます。設定値に到達したら古いデータは自動で削除がされ、領域をリサイクルできます。

●保存ファイル分割
録画ファイルのサイズが指定できます。設定値に到達したら映像は自動的に次のファイルに録画されます。

●FTPクライアント機能
FTPクライアント機能が搭載され、FTPサーバへ接続できます。カメラの映像はスケジュールや手動でFTPサーバへアップロードできます。

●幅広いプラットホームに対応
TCP/IP、SMTP Eメール、HTTPと、その他のインターネットプロトコルをサポートします。Windows、MacOS、Linux※など複数のOSが混在する環境でも使用できます。
※サポート対象外です。

●リモート管理ユーティリティ
CS Series Viewer管理ユーティリティを使うことで、IDとパスワードを持つ管理者がリモートで本製品を設定することができます。あらかじめ登録されたユーザーは映像をモニターしたり、スナップショットを撮ることもできます。

3 パッケージ内容の確認

パッケージから注意して内容物を取り出し、以下の付属品が含まれていることを確認してください。

・CS-W03G本体
・外部アンテナ
・スタンドセット
(カメラスタンド×1、スタンド用ネジ×1、壁取り付けネジ×3、ゴム足×3)
・LANケーブル(UTPクロス1m)
・ACアダプタ
・CD-ROM(ユーティリティ＆ユーザーズ・マニュアル)
・スタートアップガイド
・安全に関する説明書
・保証書

付属品が足りない場合、または破損などがある場合は、お手数ですが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 システム要件

■　本製品をご使用いただくために以下のシステム要件を満たす必要があります。

◎　ネットワーク環境

有線ネットワーク
IEEE802.3 10Base-T、IEEE802.3u　100Base-TX
無線ネットワーク
IEEE 802.11b/g 準拠の無線 LAN

※有線ネットワークと無線ネットワークは排他利用になります。

◎　本製品接続の推奨コンピュータ

システム要件
・CPU:Pentium III, 600 MHz 以上
・メモリ:128MB以上
・画面:800x600以上
・Internet Explorer 6.0 以上
　(Windows：ActiveX モード、Java モード
　Windows以外：Java モードのみ)
・対応 OS: Win 98SE/Me/2000/XP
　※ActiveXおよびJavaで映像を見るためには、それぞれの
　　ソフトウェアをインストールする必要があります。

◎　CS Series Viewer管理ユーティリティ

システム要件
・CPU:Pentium III, 1 GHz 以上
・メモリ:128MB以上
・画面:1024x768以上
・ハードディスク空き容量: 50MB以上
・対応 OS: Win 98SE/Me/2000/XP

2.各部の名称と役割

1 各部の名称

■　本体前部

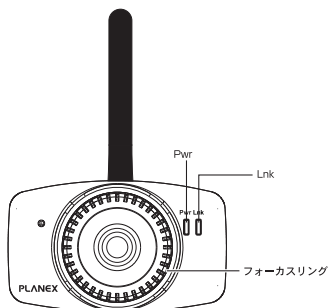



図2-1 CS-W03G前部

「Pwr 」LED
本製品の電源が入っているときに青色に点灯します。

「Lnk」LED
接続状態が確立しているときに橙色に点灯します。

通信状況によって、データ送受信中に点滅します。

PwrとLnk LEDの点灯設定は、通常／オフ／ダミー の3種類あります。設定方法は第4章「WEBブラウザからの設定」をご覧ください。

「フォーカスリング」

遠くのものへピントを合わせるときは右へ回します。

近くのものへピントを合わせるときは左へ回します。

■　本体後部

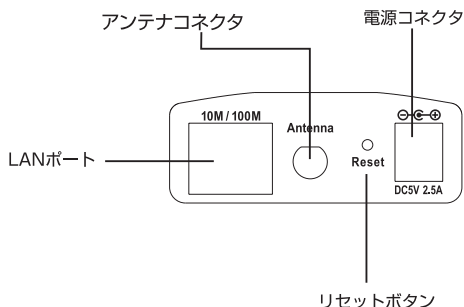



図2-2 CS-W03G 後部

「LANポート」
10Base-T/100Base-TX用LANケーブル（カテゴリー5）のRJ-45ポートです。10/100Mbpsを自動認識し、最適な速度で通信可能です。また、AutoMDI/MDI-Xに対応しているため、ストレートケーブルおよび、クロスケーブルを自動認識します。

「電源コネクタ」
付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットボタン」
本製品を再起動するときと、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使います。

・再起動するには

リセットボタンを押します。Pwr LEDが点滅したら再起動完了となります。

・出荷時設定に戻すには

リセットボタンを約 3 秒間、Pwr LEDが再点灯するまで押し続けます。Pwr LEDが点滅をはじめ、工場出荷時の設定に初期化されます。

「アンテナコネクタ」
付属のアンテナを接続するためのコネクタです。

■　本体上部

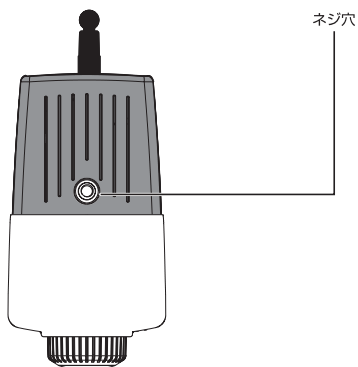



図2-3 CS-W03G 上部

「ネジ穴」
付属のカメラスタンドへの取り付けに利用します。

■本体底部

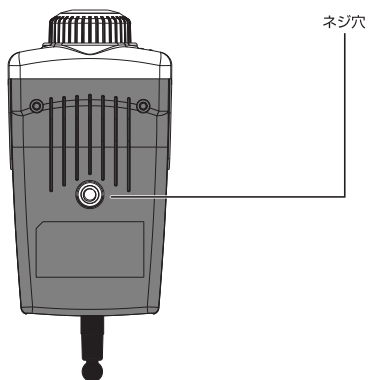



図2-4 CS-W03G 底部

「ネジ穴」

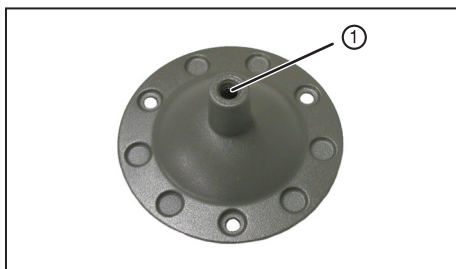
付属のカメラスタンドへの取り付けに利用します。

2. 付属スタンドの取り付け

本製品に付属のスタンドを取り付けることで、カメラの向きや角度を調整できます。スタンドは部品A、Bの2つで構成されます。以下の図を参考にスタンドを組み立ててください。

1. スタンド部品

部品 A

部品 B

2. 完成図

組み立てたスタンドは、本製品底面にあるネジ穴に取り付けます。部品Aには3箇所の壁取り付けネジ用の穴が開いているので壁や天井にも取り付けできます。

組み立て例

注意

●壁や天井に取り付けるときは、付属の壁取り付けネジを使って落下しないようにしっかりと取り付けてください。

3.角度調整

部品Bは角度を調整できます。部品B横の調節ネジを緩めて角度調整後、しっかり締め付けます。

部品 B

3.本製品を設定するための準備

本製品を設定するためのコンピュータの設定について説明します。本製品は設定をWEBブラウザ上からおこないます。本章の手順に従ってご使用のコンピュータのネットワークの設定をおこなってください。

本製品は有線LANを使って設定をおこないます。
設定する前に以下をご用意ください。

■設定用コンピュータ

■LANケーブル

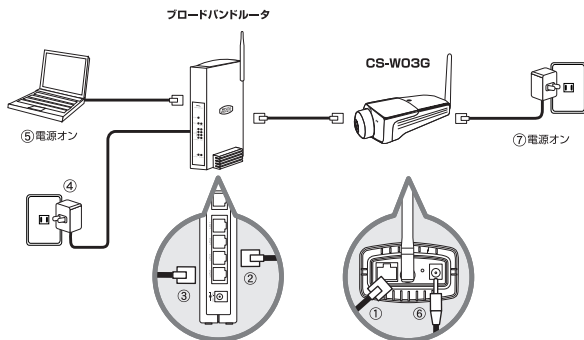
注意

設定用コンピュータに有線LANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。インストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

1 本製品の接続

本製品を有線LANへ接続し設定します。本製品は無線LAN機能を搭載していますが、購入直後の設定と動作の確認は有線LANから実施することをお勧めします。以下の例を参照し、接続してください。

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。ACアダプタのACプラグはAC100Vの電源コンセントに接続してください。本製品は電源スイッチがありません。ACアダプタのACプラグを電源コンセントに接続した時点で電源が入ります。ACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

■本製品とブロードバンドルータやハブと接続するとき

1. LANケーブルのコネクタを本製品のLANポートに接続します。

2. LANケーブルの片方のコネクタをブロードバンドルータやハブのLANポートに接続します。

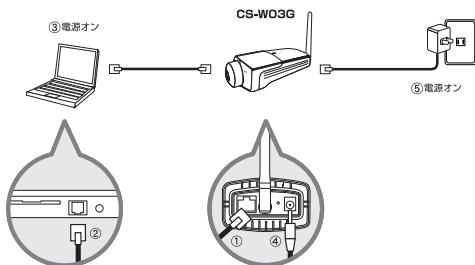
3. 設定用のコンピュータをブロードバンドルータまたはハブのLANポートに接続します。

4. ブロードバンドルータやハブの電源を入れます。

5. 設定用のコンピュータの電源を入れます。

6. ACアダプタのコネクタを本製品へ接続します。

7. ACアダプタのACプラグをAC100Vの電源コンセントへ接続します。

■本製品とコンピュータを直接接続するとき

1. 製品付属のLANケーブルのコネクタを本製品のLANポートに接続します。
2. LANケーブルの片方のコネクタを設定用コンピュータへ接続します。
3. 設定用のコンピュータの電源を入れます。
4. ACアダプタのコネクタを本製品へ接続します。
5. ACアダプタのACプラグをAC100Vの電源コンセントへ接続します。

本製品を無線LANで接続して使いたいときは

本製品を無線LANでご利用されるときでも、はじめに有線LANへ接続し設定してください。本製品の設定は有線LANから実施することをお勧めします。本製品の設定と動作の確認後、電源を切り、LANケーブルを取り外してから設置します。本製品の電源を切っても設定した内容は保存されています。本製品の無線LANを設定するときは、通信モード、チャンネル、SSID、暗号化の情報が必要です。本製品の設定前に、ご利用のネットワークの設定を調べておいてください。

本製品をADSLモデムに接続して使いたいときは

本製品をADSLモデムに接続するときは、はじめに本製品とコンピュータをLANケーブルで接続し設定してください。本製品の設定と動作確認後、ADSLモデムへ接続しなおしてください。

2 コンピュータのネットワーク設定

ここではコンピュータ毎の設定について説明します。ご使用のOSの説明を参照に設定してください。

注意

●本製品は工場出荷時の設定で「192.168.1.100」に設定されています。コンピュータに割り当てるIPアドレスには「192.168.1.100」以外を割り当ててください。また、IPアドレスは他のネットワーク機器とも重ならないようにしてください。

●ここでは本製品のWEB設定画面にアクセスできるようにコンピュータのIPアドレス設定を変更します。 ***本製品の設定が終わったら、ご使用のコンピュータのIPアドレス設定をもとに戻してください。***

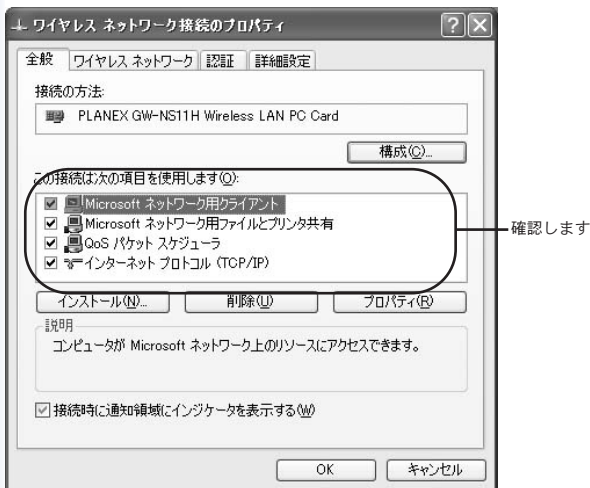
■Windows XP

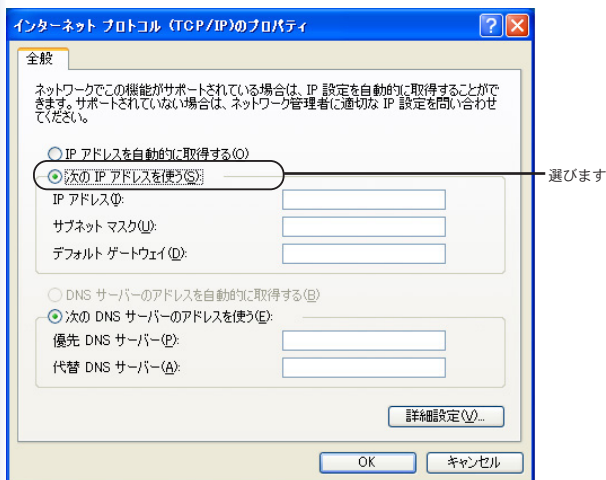
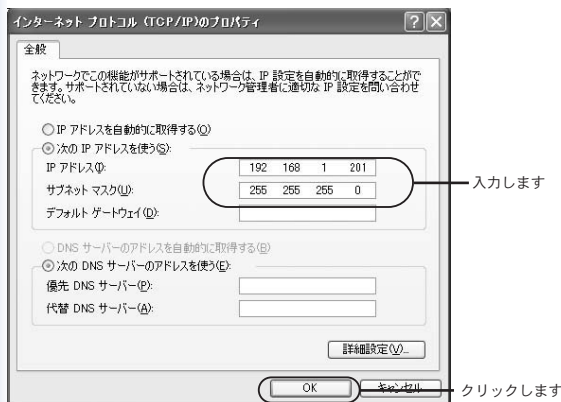
注意

●この作業をおこなうには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

●以下の作業手順および表示画面はWindows XPの初期状態の場合です。Windows XPの設定によって異なる場合があります。

1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」から「ネットワーク接続」をダブルクリックします。「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」を選びます。「この接続は次の項目を使用します」の欄に「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のチェックボックスがオンになっているか確認します。チェックボックスがオフになっている場合はオンにします。

3.TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選び[プロパティ]をクリックします。

4.「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。画面上の「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。

5.IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～99，101～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定します。[OK］ボタンをクリックします。

注意

●ご使用のコンピュータのIPアドレスは、本製品のアドレスと同一セグメントである必要があります。詳しくは、「付録C トラブルシューティング」の「Q1 本製品をWEBブラウザからアクセスできない。」→　「A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。」をご覧ください。

■Windows 2000

注意

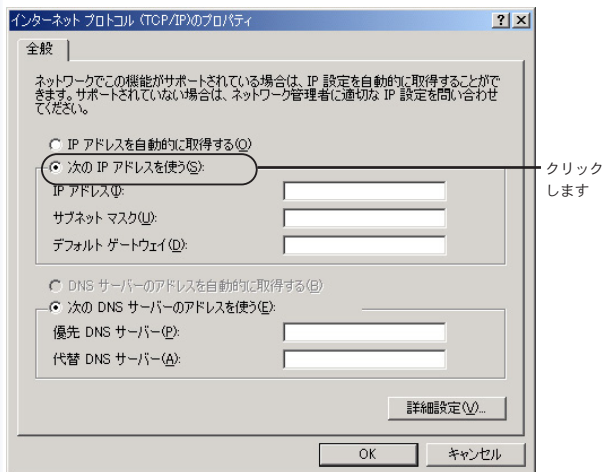
●この作業をおこなうには「Administrator」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

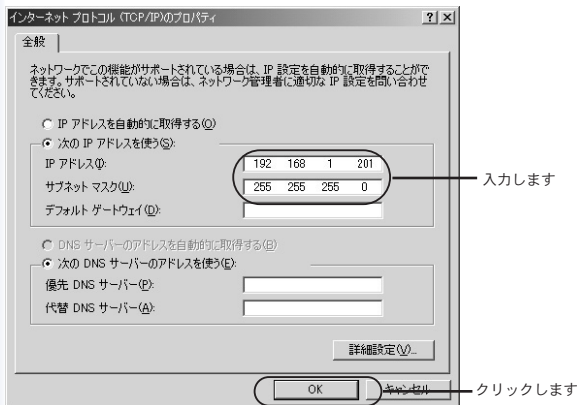
1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

3.「ネットワークとダイヤルアップ接続」が表示されます。
「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

4.「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。画面上の「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I):
サブネット マスク(U):
デフォルト ゲートウェイ(D):
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(A):
詳細設定(V)...
OK
キャンセル

クリックします

5.「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～99、101～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.201」に設定します。「OK」をクリックします。

6.「ローカルエリア接続のプロパティ」の「OK」をクリックし画面を閉じます。再起動を要求されたときは再起動してください。

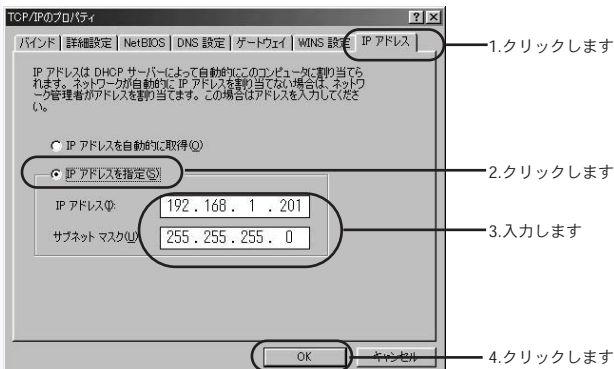
注意

●ご使用のコンピュータのIPアドレスは、本製品のアドレスと同一セグメントである必要があります。詳しくは、「付録C トラブルシューティング」の「Q1 本製品をWEBブラウザからアクセスできない。」→　「A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。」をご覧ください。

■Windows 98SE/Me

1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」が表示されます。「ネットワーク」をダブルクリックします。

3.「現在のネットワークコンポーネント」欄の「TCP/IP(お使いのLANカードまたはLANボード)」を選び、[プロパティ]をクリックします。「IPアドレス」タブをクリックします。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされています。画面上の「IPアドレスを指定」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1～99，101～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力し、[OK]をクリックします。[OK]をクリックすると、再起動を要求するメッセージが表示されますので[はい]をクリックしてコンピュータを再起動してください。

注意

●ご使用のコンピュータのIPアドレスは、本製品のアドレスと同一セグメントである必要があります。詳しくは、「付録C トラブルシューティング」の「Q1 本製品をWEBブラウザからアクセスできない。」→　「A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。」をご覧ください。

■その他のコンピュータまたはOS

ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照にして、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスを「192.168.1.x」(xは1～99，101～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定してください。

4.WEBブラウザからの設定

1 WEB設定画面の表示

本製品はWEBベースの設定画面が用意されています。本製品をご使用になる際は、必ずWEB設定画面から設定をおこなう必要があります。

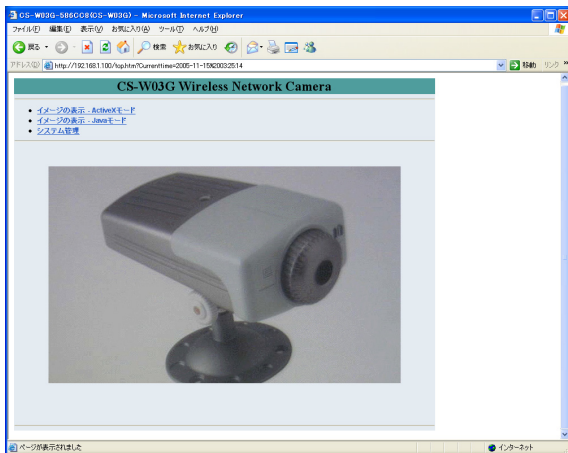
1.コンピュータのWEBブラウザを起動します。
2.WEBブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.100」
（本製品のデフォルトIPアドレス）を入力し、Enterキーを押します。

2 WEB設定画面のトップページ

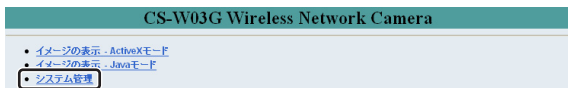
本製品のトップページが表示されます。トップページから以下のオプションを選択することができます。

・イメージの表示 ActiveX モード（74ページ参照）
・イメージの表示 Java モード（76ページ参照）
・システム管理（38ページ参照）

ワンポイント

●通常、Windows環境でお使いのときは、ActiveXモードを使用します。Windows以外の環境でお使いのときは、Javaモードを使用します。

3 本製品の設定

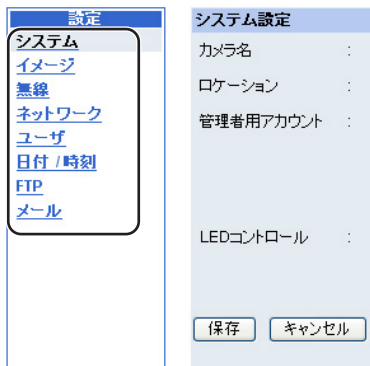
WEBブラウザを使って本製品の設定をおこないます。
以下の手順で設定画面に入ります

1.トップページの「システム管理」をクリックします。

2.ログインします。
①「ユーザー名」に「admin」と半角小文字で入力します。
②「パスワード」に「password」と半角小文字で入力します。
③[OK]をクリックします。

3.画面上部のメニューから「設定」をクリックします。

左側の「設定」メニューから、設定項目を選択できます。

設定
システム
イメージ
無線
ネットワーク
ユーザ
日付 / 時刻
FTP
メール

システム設定
カメラ名 :
ロケーション :
管理者用アカウント :
LEDコントロール :
保存 キャンセル

●システム　　　(40ページ参照)
●イメージ　　　(43ページ参照)
●無線　　　　　(46ページ参照)
●ネットワーク(51ページ参照)
●ユーザ　　　　(56ページ参照)
●日付／時刻　(58ページ参照)
●FTP　　　　　(60ページ参照)
●メール　　　　(64ページ参照)

3-1システムの設定

システム設定をおこないます。

「設定」メニューから「システム」をクリックします。

システム設定

カメラ名	:	CS-W03G-[illegible]		
ロケーション	:			
管理者用アカウント	:	アカウント名	:	admin
		パスワード	:	●●●●●●●●●
		パスワード再入力	:	●●●●●●●●●
LEDコントロール	:	◉通常 ○オフ ○ダミー		

保存 キャンセル

■カメラ名

任意の名前を入力します。最大32文字の半角英数字を入力します。初期設定は「CS-W03G-XXXXXX」(XXXXXXには本製品のMACアドレスの下6桁が表示されます)です。

■ロケーション

本製品を利用している場所を任意に入力します。最大64文字の半角英数字を入力します。

■管理者用アカウント
管理者の設定をします。管理者の設定をしておかないと、本製品のメニューを表示できるものは誰でも設定を変更することができます。必ず管理者の設定をしてください。

「アカウント名」
アカウント名を入力します。最大12文字の半角英数字を入力します。初期設定は「admin」です。

「パスワード」
パスワードを入力します。最大8文字の半角英数字を入力します。初期設定は「password」です。

「パスワード再入力」
「パスワード」に入力したものと同じパスワードを入力します。

■LEDコントロール
本製品のLEDの点灯方式を設定することができます。この設定は、監視機能がオンのときに便利です。
初期設定は「通常」です。

「通常」
通常の点灯方式です。
・Pwr LEDが青色に点灯します。
・Lnk LEDが橙色に点灯します。無線機能が有効なときに点灯します。

「オフ」
監視機能が使用中でも、LEDが点灯しません。
・Pwr LEDが消灯します。
・Lnk LEDが消灯します。

「ダミー」
監視機能がオフのときでも、LEDが点灯します。
・Pwr LEDが青色に点灯します。
・Lnk LEDがランダムに点灯します。

設定後、[保存]をクリックします。

3-2　イメージの設定

画像に関する設定をおこないます。

「設定」メニューから「イメージ」をクリックします。

■解像度

画像の解像度を設定します。160×120、320×240または640×480から選びます。解像度が高いほど、画像を大きく表示させることができます。

初期設定は「320×240」です。

■圧縮比

画質を設定します。「最低画質」から「最高画質」まで5段階から選びます。画質を高くするほど、ファイルサイズが大きくます。画質を低くするほど、ファイルサイズが小さくなります。初期設定は「標準」です。

■フレームレート
本製品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数を選びます。数値が大きいほど、画像がなめらかな動きになります。初期設定の「自動」では、最適な速度が得られます。

注意

送信される画像の表示は、コンピュータやネットワーク環境により左右されます。ネットワークに比較的大きな負担がかかる環境のとき、または複数のユーザが本製品にアクセスすることが多いときは、フレームレートを小さく設定してください。

■ブライトネス
画像の明るさを設定します。数値を大きくするほど明るくなります。「+/-1」をクリックすると、±1ずつ数値が変わります。
「+/-10」をクリックすると、±10ずつ数値が変わります。直接数値を入力することもできます。設定範囲は「1」から「128」です。
初期設定は「64」です。

■コントラスト
画像のコントラストを設定します。数値を大きくするほどコントラストが高くなります。「+/-1」をクリックすると、±1ずつ数値が変わります。「+/-10」をクリックすると、±10ずつ数値が変わります。直接数値を入力することもできます。設定範囲は「1」から「128」です。初期設定は「64」です。

■サチュレーション

画像の彩度を設定します。数値を大きくするほど、より鮮やかな色になり、数値が低いと濁った色(グレー)になります。「+/-1」をクリックすると、±1ずつ数値が変わります。「+/-10」をクリックすると、±10ずつ数値が変わります。直接数値を入力することもできます。設定範囲は「1」から「128」です。初期設定は「64」です。

■照明周波数

本製品を利用される地域の電源周波数を「50Hz」または「60Hz」から選びます。
初期設定は「50Hz」です。

■画像反転

「水平方向」
左右反転します。
「垂直方向」
上下反転します。
カメラを逆さまに設置するようなとき、「水平方向」と「垂直方向」にチェックを入れることで、正視した画像としてみることができます。

■フリッカー防止機能

蛍光灯のちらつきを抑えたいとき「有効」にチェックマークをつけます。

設定後、[保存]をクリックします。

3-3　無線の設定

無線LANの設定をおこないます。「設定」メニューから「無線」をクリックします。

無線インターフェース

■無線
無線LANの有効/無効を設定します。初期設定は「無効」です。

■接続モード
無線LANの接続方法を設定します。ネットワーク環境により「インフラストラクチャ」または「アドホック」のどちらかを選びます。

「インフラストラクチャ」
本製品が無線アクセスポイントを経由して通信やインターネット接続をおこなうとき、「インフラストラクチャ」を選びます。

「アドホック」
本製品が無線アクセスポイントを経由しないでコンピュータと1対1で通信をおこなうとき、「アドホック」を選びます。

■SSID
接続先の無線ネットワーク(SSID)を設定します。接続先のアクセスポイントと同じSSIDを設定します。手動で入力するか、プルダウンリスト※から選びます。最大32文字の半角英数字が入力できます。空欄に設定したときは、アクセスポイントのSSIDに関係なく、一番電波状態の良いアクセスポイントに接続します。

※プルダウンリストには最新のSSIDが表示されないときがあります。サイトサーベイで更新した一覧からSSIDをコピーして手動で入力してください。

リストにSSIDを表示させるには
1.[サイトサーベイ]をクリックすると、接続できる無線ネットワークが一覧表示されます。
2.[更新]をクリックすると、リストにSSIDが表示されます。

■チャンネル
アドホックモードのとき、使用するチャンネルを設定します。
チャンネルは1～13chから選びます。初期設定は「1」です。
インフラストラクチャモード時は選択する必要がありません。

暗号化設定
暗号化の設定をおこないます。接続先のアクセスポイントと同じ設定にします(アドホックモードのときは、通信するコンピュータと同じ設定にします)。無線ネットワークで安全にデータをやり取りするためにも暗号化を設定することをお勧めします。

「無効」
暗号化を無効にします。
「WEP設定」
暗号化にWEPを使用するとき選びます。

キーの長さ:「64bit」または「128bit」から選びます。「128bit」の方が強度が高くなります。
WEPキーフォーマット:「ASCII」または「16進数」から選びます。
キー1~4:使用するキー番号にWEPキーを入力します。WEPキーフォーマットで「ASCII」を選んだとき、大文字、小文字の半角英数字を入力できます。WEPキーフォーマットで「16進数」を選んだとき、16進数(0～9の数字、A～Fの文字)が入力できます。
WEPキーの文字数は、キーのbit数とキーフォーマットで決まります。

	64bit	128bit
ASCII	5文字の半角英数字	13文字の半角英数字
16進数	10文字の16進数	26文字の16進数

入力したWEPキーは設定を保存したあと、「・」で表示されます。
入力したWEPキーは、メモに控えるなどして忘れないようにしてください。

インデックスキー:キー1からキー4のうち有効にするキー番号を選びます。
認証方式:「オープンシステム」を選ぶと、WEPキーの有無にかかわらず認証をおこない通信します。「共有キー」を選ぶと、WEPキーを利用して認証をおこない、同じWEPキーを持っているときのみ通信ができます。「自動」を選ぶと、接続先の認証モードに合わせて自動的に承認をおこないます。

「WPA-PSK」(TKIP)※
共有キー:WPA-PSKを使用するとき選びます。プリシェアードキー(PSK)を使って認証をおこないます。ASCII文字のとき8~63文字の範囲で入力します。16進数のとき64文字を入力します。
※アドホックモード時は使用できません。
※WPA-PSK AESは対応しておりません。

アドバンスド設定
「ビーコン間隔」
ビーコン間隔を設定します。1msから65535msの範囲で入力します。ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。初期設定は「100ms」です。
通常は変更する必要はありません。

「プリアンブル」
送信データへ付加する同期信号(プリアンブル)の形式を選びます。
「ショート」のとき、プリアンブルの長さが短くなり、無線ネットワークの通信効率が向上します。通常は「ロング」を選びます。初期設定は「ロング」です。
通常は変更する必要はありません。

設定後、[保存]をクリックします。

3-4　ネットワークの設定

ネットワークの設定をおこないます。
「設定」メニューから「ネットワーク」をクリックします。

ネットワーク

IPアドレス設定 :
- ◉ 固定設定
  - IPアドレス : 192.168.1.100
  - サブネットマスク : 255.255.255.0
  - デフォルトゲートウエイ : 0.0.0.0
- ○ 自動取得(DHCP)
- ○ PPPoE接続
  - ユーザ名 :
  - パスワード :

DNS IPアドレス設定 :
1. 0.0.0.0
2. 0.0.0.0

ダイナミックDNS : ○ 有効 ◉ 無効
- サービス名 : DynDNS.org
- ホスト名 :
- ユーザ名 :
- パスワード :

セカンダリポート : ○ 有効 ◉ 無効
- ポート番号 : 81

保存　キャンセル

■IPアドレス設定
IPアドレスの設定は以下の方法があります。ご利用のネットワークに合わせて設定してください。

接続方式	ネットワークの例
固定設定	ご利用のネットワークで固定のIPアドレスを設定するとき
自動取得(DHCP)	ブロードバンドルータのDHCPサーバを使いIPアドレスを設定するとき
	Yahoo! BBやCATVネットワークなどのDHCPでインターネットへ接続するとき
PPPoE接続	NTTのフレッツ・ADSL、Bフレッツなどのppp0EでブロードバンドルータをІ使わずに直接インターネットへ接続するとき

「固定設定」

通常は「固定設定」を選びます。
IPアドレス:固定設定するIPアドレスを入力します。初期設定は「192.168.1.100」です。
サブネットマスク:サブネットマスクを入力します。初期設定は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ:デフォルトゲートウェイを入力します。初期設定は「0.0.0.0」です。

「自動取得(DHCP)」
IPアドレスを自動で取得します。

「PPPoE接続」
ユーザ名:プロバイダから指定されたユーザ名を入力します。
パスワード:プロバイダから指定されたパスワードを入力します。

注意
●ブロードバンドルータを介さずにグローバルIPで接続するときは、同時にDDNSの設定もおこなってください。その場合、インターネットに直接接続されるため、セキュリティの観点から管理者パスワードの設定もおこなってください。

■DNS IPアドレス設定
DNSサーバ IPアドレスを入力します。

■ダイナミックDNS
ダイナミックDNSの設定については、54ページを参照してください。

■セカンダリポート
本製品のポートは「80」です。ポート番号80以外を使用するときは、セカンダリポートを設定します。
セカンダリポートの有効/無効を設定します。初期設定は「無効」です。
ポート番号:ポート番号を設定します。

設定後、[保存]をクリックします。

3-5　ダイナミックDNSの設定

本製品をブロードバンドルータに接続してインターネットへ画像を公開するときは、ダイナミックDNSを設定することをお勧めします。ダイナミックDNSを設定すると、本製品の画像をインターネットから参照するとき、IPアドレスではなく、あらかじめ設定されたホスト名で接続できるようになります。

注意

●本製品は、DynDNSのダイナミックDNSに対応しています。DynDNSへの登録手続きや設定などはお客様ご自身でおこなってください。ダイナミックDNSの登録や使い方などは弊社のサポート対象外です。サービスの詳細は、各社のホームページをご覧ください。
●本製品は、10分間隔でグローバルIPアドレスの確認をしており、IPアドレスが更新された際に、ダイナミックDNSへの更新をおこないます。

「設定」メニューから「ネットワーク」をクリックします。

ネットワーク
IPアドレス設定 :
⦿固定設定
IPアドレス : 192.168.1.100
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウエイ : 0.0.0.0
○自動取得(DHCP)
○PPPoE接続
ユーザ名 :
パスワード :
DNS IPアドレス設定 : 1. 0.0.0.0
2. 0.0.0.0
ダイナミックDNS : ○有効 ⦿無効
サービス名 : DynDNS.org
ホスト名 :
ユーザ名 :
パスワード :
セカンダリポート : ○有効 ⦿無効
ポート番号 : 81
UPnP : ⦿有効 ○無効
保存　キャンセル

「有効/無効」
本製品のダイナミックDNSの機能を使うとき「有効」を選びます。
初期設定は「無効」です。

「サービス名」
ダイナミックDNSサービス「DynDNS」を選びます。

「ホスト名」
ダイナミックDNSサービスに登録したホスト名を入力します。

「ユーザ名」
ダイナミックDNSサービスに登録したユーザ名を入力します。

「パスワード」
ダイナミックDNSサービスに登録したパスワードを入力します。

設定後、[保存]をクリックします。

3-6　ユーザの設定

ユーザ設定では、本製品をリモートで監視できるユーザの設定をおこないます。

「設定」メニューから「ユーザ」をクリックします。

アクセスコントロール

■アクセスコントロール

「有効/無効」

登録したユーザの本製品へのアクセスを許可するときは、「有効」を選びます。許可しないときは、「無効」を選びます。初期設定は「無効」です。

ユーザ登録

■ユーザの追加
「ユーザ名」ユーザ名を任意に入力します。最大12文字の半角英数字を入力します。

「パスワード」パスワードを任意に入力します。最大12文字の半角英数字を入力します。

「アップロード/メール送信」
ユーザに対して静止画像のFTPサーバへのアップロードあるいはメール送信を許可するときは、「有効」を選びます。

[追加]をクリックすると、ユーザとして登録され、「ユーザリスト」に表示されます。
ユーザは最大64ユーザまで登録できます。

■ユーザの削除
削除したいユーザを選び、[削除]をクリックします。ユーザリストから削除されます。

■ユーザリスト
登録した「ユーザ名」と「アップロード/メール送信」がリスト表示されます。「アップロード/メール送信」が有効に設定されているときは、「Yes」、無効に設定されているときは、「No」と表示されます。

3-7　日付／時刻の設定

本製品はユーザに対して日付と時刻を表示します。設定方法は、タイムサーバの情報を利用するか、手動で日付と時刻を設定します。

■日付/時刻

「タイムサーバと同期」

GMTを基準にタイムゾーンの時差を加味した正確な時刻を表示させることができます。最初にNTPサーバからの時刻を取得してから、24時間周期で時刻が自動的に補正されます。

IPアドレス:タイムサーバのIPアドレスを入力します。初期設定として「133.100.9.2」が設定されています。

プロトコル:タイムサーバのプロトコルを「NTP」または「Time」から選択します。NTP(Network Time Protocol)とは、コンピュータの時刻をインターネットを介して正しく調整するプロトコルです。「Time」は、イントラネット上の特定のコンピュータをホストとして、その時刻と本製品の時刻を同期させるプロトコルです。初期設定は「NTP」です。

タイムゾーン：タイムゾーンとは、世界の地域別標準時間帯のことです。日本のタイムゾーンは「+9」です。初期設定は「+9」です。

「手動設定」
手動で日付/時刻を設定します。

日付 : 半角数字を入力します。例えば、2005年11月1日のとき、
「2005-11-01」と入力します。

時刻 : 半角数字を24時間表示で入力します。例えば、午後8時20分
のとき、「20:20:00」と入力します。

以下のとき、日付/時刻の再設定が必要です。
・再起動したとき
・初期化したとき
・電源をON/OFFしたとき
・停電があったとき

PCと同期させる:
ここにチェックマークをつけると、コンピュータの日付/時刻と
同期させます。

設定後、[保存]をクリックします。

3-8FTPの設定

画像をFTPサーバへアップロードするために必要な情報を設定します。「設定」メニューから「FTP」をクリックします。

FTPサーバ

ホスト名 :

ポート番号 : 21 (デフォルト:21)

ユーザ名 :

パスワード :

ディレクトリ : /

パッシブモード : ○有効 ◉無効

スケジュール

スケジュール : □スケジュール設定によるFTPサーバへの画像のアップロードを有効にする

◉常時

○スケジュール

曜日 : □月 □火 □水 □木 □金 □土 □日

時間帯 : 開始 : 00:00:00 (例 : 06:30:00)

終了 : 00:00:00 (例 : 22:30:00)

アップロード間隔: ◉ 1 フレーム/秒

○ 1 秒/フレーム

ファイル名 :

ファイル処理 : ○上書き

◉日付時刻を付加

○シーケンス(連続)番号 1024 番まで付加

マニュアルオペレーション

マニュアルオペレーション : □手動によるFTPサーバへの画像のアップロードを有効にする

ファイル名 :

ファイル処理 : ○上書き

◉日付時刻を付加

○シーケンス(連続)番号 1024 番まで付加

保存　キャンセル

FTPサーバ

■ホスト名
FTPサーバのIPアドレスを入力します。

■ポート番号
FTPサーバのポート番号を入力します。初期設定は「21」です。

■ユーザ名
FTPサーバにログインするためのユーザ名を入力します。

■パスワード
FTPサーバにログインするためのパスワードを入力します。

■ディレクトリ
アップロードした画像が保存される既存のフォルダ名を入力
します。

■パッシブモード
ご利用のFTPサーバでパッシブモードが有効なときは「有効」を
選びます。初期設定は「無効」です。

スケジュール

■スケジュール
スケジュールにしたがってFTPサーバへ画像をアップロードするときは、「スケジュール設定によるFTPサーバへの画像のアップロードを有効にする」にチェックマークをつけます。初期設定はチェックされていません。

「常時」
指定したFTPサーバへ常時送信します。初期設定は「常時」です。送信間隔は、設定した「アップロード間隔」で送信されます。

「スケジュール」
曜日:「月」から「日」まで曜日を指定します。
時間帯:「開始」にアップロードを開始する時刻を入力します。例えば、午前6時30分のとき、「06:30:00」と入力します。「終了」にアップロードを終了する時刻を入力します。例えば、午後10時30分のとき、「22:30:00」と入力します。

「アップロード間隔」
フレーム/秒:アップロードする画像の1秒あたりのフレーム数を指定します。「1」「2」「3」「自動」から選びます。「自動」では、回線速度に応じて、最適なアップロード間隔をカメラ側で自動的に調節します。
秒/フレーム:画像の1フレームを送る間隔を秒単位で入力します。

「ファイル名」
画像が保存されるファイル名を入力します。

「ファイル処理」
複数の画像をアップロードするときの保存方式を指定します。
上書き:画像がアップロードされるごとに、ファイルを上書き保存します。
日付/時刻を付加:画像がアップロードされるごとに、指定した「ファイル名」の後に日付/時刻が付加されて保存されます。ファイルは上書きされません。
シーケンス(連続)番号 番まで付加:画像がアップロードされるごとに、指定した「ファイル名」の後に1から指定した番号までを連番で付加します。ファイルは上書きされません。初期設定は「1024」です。

「マニュアルオペレーション
手動によりFTPサーバへ画像をアップロードするときは、「手動によるFTPサーバへの画像のアップロードを有効にする」にチェックマークをつけます。

設定後、[保存]をクリックします。

3-9メールの設定

画像をメールで送信するために必要な情報を設定します。
「設定」メニューから「メール」をクリックします。

メールアカウント

SMTPサーバアドレス　：
送信先メールアドレス　：
送信元メールアドレス　：
ユーザ名　：
パスワード　：

スケジュール

スケジュール　：　□スケジュール設定による画像のメール送信を有効にする
◉常時
○スケジュール
曜日　：□月　□火　□水　□木　□金　□土　□日
時間帯：開始時刻：00:00:00　(例：06:30:00)
終了時刻：00:00:00　(例：22:30:00)
送信間隔：300　秒

マニュアル送信

マニュアル送信　：　□手動による画像のメール送信を有効にする
送信間隔：300　秒

保存　キャンセル

メールアカウント

■SMTPサーバアドレス
プロバイダから提供されているSMTPサーバアドレスを入力します。

■送信先のメールアドレス
送信先のメールアドレスを入力します。

■送信元のメールアドレス
送信元のメールアドレスを入力します。

■ユーザ名
プロバイダから提供されているメールアカウントのユーザ名を入力します。

■パスワード
プロバイダから提供されているメールアカウントのパスワードを入力します。

注意

●送信先メールアドレスに誤りがないか確認してください。送信先メールアドレスに誤りがあると、画像を送信することができませんので、注意してください。

スケジュール

■スケジュール
スケジュールにしたがって静止画像をメール送信するときは、「スケジュール設定による画像のメール送信を有効にする」にチェックマークをつけます。

「常時」
設定したメールアドレスへ画像をアップロードします。初期設定は「常時」です。

「スケジュール」
曜日:「月」から「日」まで曜日を指定します。
時間帯:「開始時刻」にメール送信を開始する時刻を入力します。例えば、午前6時30分のとき、「06:30:00」と入力します。「終了」にメール送信を終了する時刻を入力します。例えば、午後10時30分のとき、「22:30:00」と入力します。

「送信間隔」
メール送信がおこなわれる時間の間隔を「秒」単位で指定します。例えば、「30」と設定すれば、30秒おきにメール送信されます。初期設定は「300」です。

マニュアル送信

■マニュアル送信
手動により静止画像をメール送信するときは、「手動による画像のメール送信を有効にする」にチェックマークをつけます。

「送信間隔」
メール送信がおこなわれる時間の間隔を「秒」単位で指定します。例えば、「30」と設定すれば、30秒おきにメール送信されます。初期設定は「300」です。

設定後、[保存]をクリックします。

4 さまざまな機能

本製品のさまざまな機能を説明します。
トップページの「システム管理」をクリックし、画面上部のメニューから「ツール」をクリックします。

4-1　FTPテスト

設定したFTPサーバへイメージデータを送り、送信テストをおこないます。

「ツール」メニューから「FTPテスト」をクリックします。
[テスト]をクリックします。
添付イメージファイル「test_date_time.jpg」が送信されます。

4-2　メールテスト

設定したメールアカウントへメール送信テストをおこないます。

「ツール」メニューから「メールテスト」をクリックします。

[テスト]をクリックします。
件名が「E-mail Test」のメールとメール送信した時点の静止画像が添付されて送信されます。

4-3　再起動

本製品を再起動します。
「ツール」メニューから「再起動」をクリックします。

再起動
本体を再起動します
[再起動]
(c)Copyright 2005 PLANEX COMMUNICATIONS Inc. All rights reserved

[再起動]をクリックします。
「再起動中です。しばらくお待ちください。」という表示になります。「再起動されました」が表示されたら、再起動完了です。
※画面が切り替わらないときは、再度ログインしてください。

4-4　本体の初期化

本製品を初期化します。初期化するとすべての設定が初期設定に戻ります。
「ツール」メニューから「本体の初期化」をクリックします。

本体の初期化
本製品を出荷時の初期設定にリセットします
[リセット]
(c)Copyright 2005 PLANEX COMMUNICATIONS Inc. All rights reserved

[リセット]をクリックします。

4-5　アップグレード

本製品を最新のファームウエアにアップグレードします。弊社のホームページより最新のファームウエアをダウンロードできます(http://www.planex.co.jp/support/download/)。弊社ホームページには、常に最新のファームウエアを掲載しています。
「ツール」メニューから「アップグレード」をクリックします。
「現在のファームウエアバージョン」に表示されているバージョンより新しいファームウエアが弊社ホームページ上に掲載されているときは、アップグレードすることをお勧めします。

ファームウエアアップグレード

現在のファームウエアバージョン: 1.00 (2005-10-25)

ファームウエアファイルを選択してください : [参照...]

[アップグレード] [キャンセル]

あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウエアをダウンロードし、コンピュータのハードディスクなどに保存します。

1.[参照]をクリックします。

2.保存したファームウエアファイルの場所を指定し、[開く]をクリックします。

3.[アップグレード]をクリックすると、アップグレードが始まります。

※アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。「ファームウエアが更新されました」が表示されたら、アップグレード完了です。

4-6　設定の保存/復元

本製品の設定を保存または復元(呼び出し)することができます。
「ツール」メニューから「保存/復元」をクリックします。

本体設定の保存
ネットワークカメラ本体の設定をファイルに保存します
[保存]

本体設定の復元
設定ファイルを選択して下さい：[参照...]

[復元] [キャンセル]

■設定を保存するとき
1.[保存]をクリックします。
2.[参照]をクリックします。
3.保存する場所を指定します。
4.ファイル名を入力して、[保存]をクリックします※。

※ファイル名に「Config」が自動入力されています。拡張子は「.CFG」がつきます。

5.ダウンロードが完了したら[閉じる]をクリックします。

■設定を復元するとき
1.[参照]をクリックします。
2.保存した設定ファイルの場所を指定し、[開く]をクリックします。
3.[復元]をクリックします。

※復元するまでに時間がかかることがあります。復元が完了すると「設定ファイルは正常に復元されました」が表示されます。

5 本製品の情報

本製品の情報を見ることができます。
トップページの「システム管理」をクリックし、「管理」をクリックします。

5-1システムの情報

「システム」をクリックします。

デバイスステータス		
カメラ名	:	CS-W03G-[illegible]
ロケーション	:	
モデル	:	CS-W03G
ファームウエアバージョン	:	1.00 [illegible]
MACアドレス	:	[illegible]
IPアドレス	:	192.168.1.100

イーサネットステータス		
リンク	:	接続
スピード	:	100M bps
デュプレックス	:	Full Duplex

更新

(c)Copyright 2005 PLANEX COMMUNICATIONS Inc. All rights reserved

情報を更新する時は、[更新]をクリックします。

5-2　イメージの情報

「イメージ」をクリックします。

イメージステータス		
解像度	:	320 X 240
圧縮比	:	標準
フレームレート	:	自動
フレームサイズ	:	8701 Bytes
照明周波数	:	50 Hz

更新

情報を更新する時は、[更新]をクリックします。

5-3　無線の情報

「無線」をクリックします。

無線ステータス		
接続モード	:	インフラストラクチャ
リンク	:	切断
SSID	:	[illegible]
チャンネル	:	1
伝送速度	:	54M bps
暗号化設定	:	無効

更新

情報を更新する時は、[更新]をクリックします。

5-4　ネットワークの情報

「ネットワーク」をクリックします。

ネットワークステータス		
IPアドレス	:	192.168.1.100
サブネットマスク	:	255.255.255.0
デフォルトゲートウエイ	:	0.0.0.0
プライマリDNSアドレス	:	0.0.0.0
セカンダリDNSアドレス	:	0.0.0.0
ダイナミックDNS	:	無効
セカンダリポート	:	無効 (Port : 81)
UPnP	:	有効 (IP : 169.254.108.200)
FTPテスト	:	テスト未実施
メールテスト	:	テスト未実施

更新

情報を更新する時は、[更新]をクリックします。

5-5　ユーザの情報

「ユーザ」をクリックします。

アクティブユーザ

	IPアドレス	ホスト名	日付 / 時刻	パケット

更新

情報を更新する時は、[更新]をクリックします。

6 イメージの表示 ActiveX モード

本製品のトップページから「イメージの表示-ActiveXモード」をクリックします。ActiveXコントロールのインストールの画面が出たときは、画面の指示にしたがって操作し、ActiveXコントロールをインストールしてください。

①「デバイス名」

WEB設定画面の「システム」で入力したデバイス名です。

②「設置場所」

WEB設定画面の「システム」で入力した設置場所です。

③「日付／時刻」
WEB設定画面の「日付／時刻」で指定したタイムサーバから得られた、または手動で指定した日付／時間です。

④「イメージのアップロード」
「オン」／「オフ」をクリックし、FTPサーバへの画像のアップロードを開始／終了します。

⑤「イメージのメール送信」
「オン」／「オフ」をクリックし、メールでの画像の送信を開始／終了します。

注意
- *「イメージをアップロード」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「設定」－「FTP」でおこないます。*
- *「イメージをメール送信」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「設定」－「メール」でおこないます。*

7 イメージの表示 Javaモード

本製品のトップページから「イメージの表示-Javaモード」をクリックします。

①「デバイス名」

WEB設定画面の「システム」で入力したデバイス名です。

②「設置場所」

WEB設定画面の「システム」で入力した設置場所です。

③「日付／時刻」
WEB設定画面の「日付／時刻」で指定したタイムサーバから得られた、または手動で指定した日付／時間です。

④「イメージのアップロード」
「オン」／「オフ」をクリックし、FTPサーバへの画像のアップロードを開始／終了します。

⑤「イメージのメール送信」
「オン」／「オフ」をクリックし、メールでの画像の送信を開始／終了します。

注意

- *「イメージをアップロード」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「設定」－「FTP」でおこないます。*
- *「イメージをメール送信」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「設定」－「メール」でおこないます。*

5.ネットワークカメラの活用

1.実用例

●家事をしながら、寝ている赤ちゃんの様子を見ることができます。

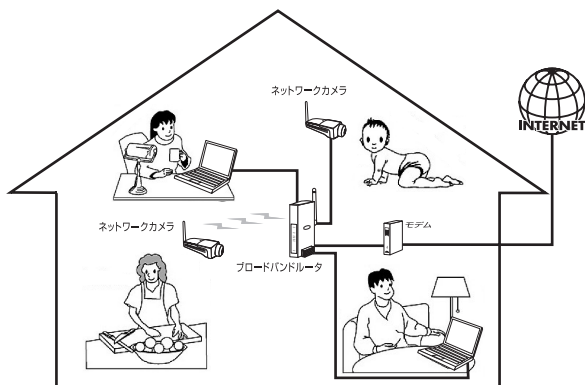
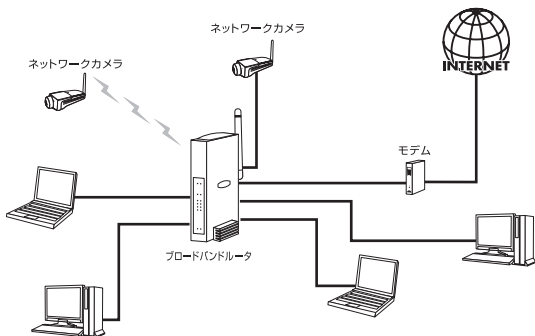
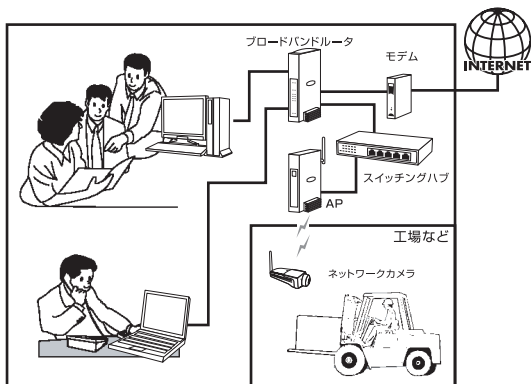
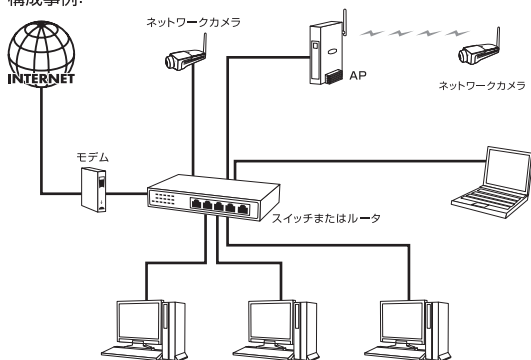
●外出先からインターネット経由で、ペットの様子を見ることができます。

●公共の場で、出入口、ロビーに本製品を設置し、混み具合、接客対応など監視できます。

●マンションのエントランスに設置し、セキュリティに役立てることができます。

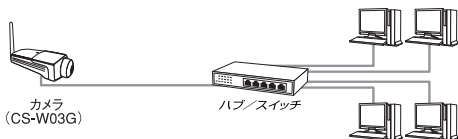
●CS Series Viewer モニタを使用すれば、ビデオ映像の静止画を取り出すことができます。

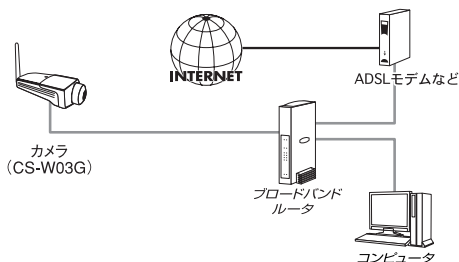
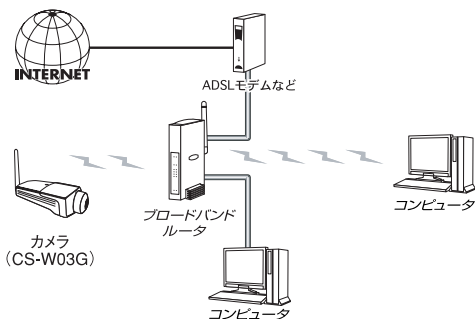
●動体検知機能を使用すれば、カメラ映像が被写体の動きを検知したときのアラーム警告とその際に撮影された映像をメール送信することができます。

2 ご家庭での利用例

構成事例:

3 SOHOでの利用例

構成事例:

4.接続タイプ

A.ネットワークカメラをコンピュータに直接接続する

B.ネットワークカメラをコンピュータに無線LANで接続する（アドホックモード）

C. ネットワークカメラをハブ/スイッチに接続し、LANカメラとして使う

D.ネットワークカメラを無線アクセスポイント(無線AP)に接続し、無線LANカメラとして使う（インフラストラクチャモード）

E.ネットワークカメラをルータ/モデム経由でインターネットに接続する

F.ネットワークカメラを無線ブロードバンドルータ経由でインターネットに接続する

注意

●ルータ使用のとき
ルータはローカルサーバ機能またはDMZ機能対応の機種が必要です。
「第7章 他のコンピュータから本製品の映像を見る」の「2.ルータを介してインターネット上に公開したいとき」を参照してください。

6. CS Series Viewer インストールと操作

1 CS Series Viewerのインストール

管理用ソフトウェアCS Series Viewerを使用すると、本製品をリモートで管理することができます。

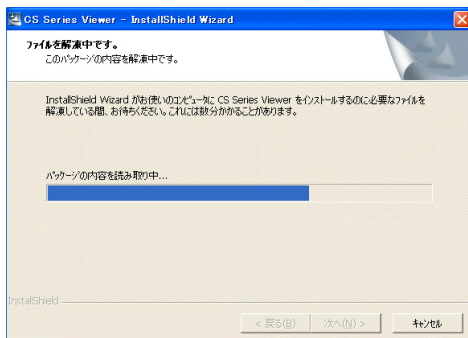
注意

Windows XP　SP2をお使いのとき、セキュリティ保護のためのメッセージが出ることがあります。画面の指示にしたがって操作してください。

1.付属のCD-ROMをディスクドライブに挿入します。「CDツアー」が表示されます。「ユーティリティインストール」をクリックすると「utilityフォルダ」が表示されます。

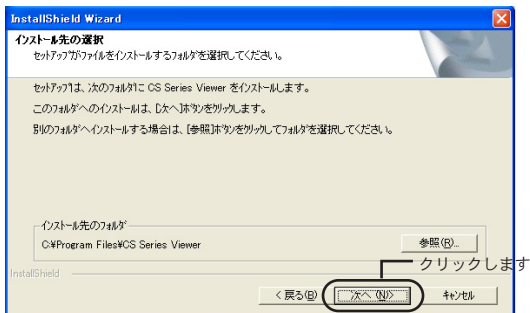
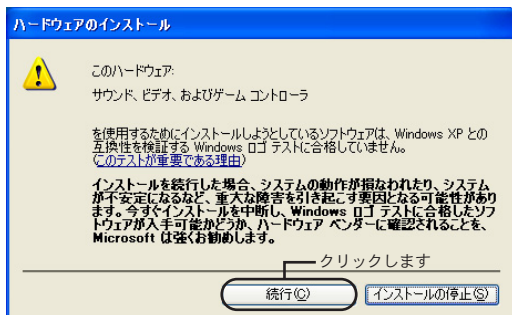
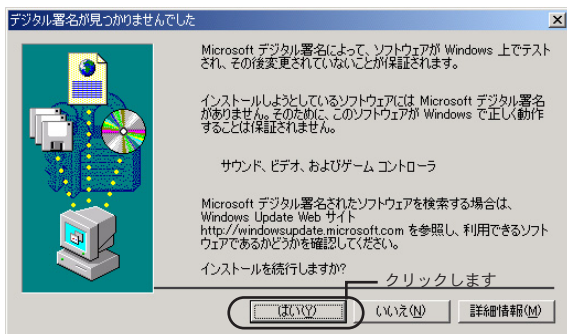
注意

●画面が立ち上がらない場合はCD-ROMのフォルダから「CS Series Viewer Setup.exe」をダブルクリックしてください。

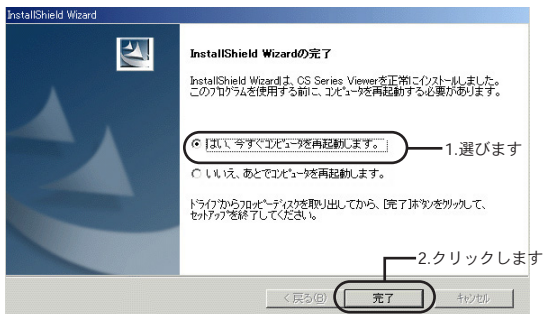
2.「CS Series Viewer Setup.exe」をクリックするとインストールの準備が開始します。

3. 以下の画面が表示されます.「次へ」をクリックします。

4.「使用許諾契約書」が表示されます。内容を確認し、「はい」をクリックします。

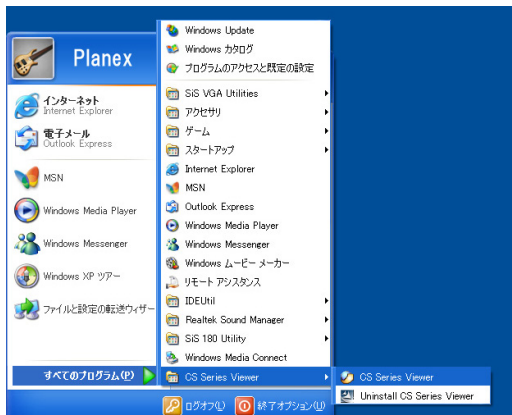
5　インストール先の選択が表示されます。「次へ」をクリックします。

※インストール先を変更するときは[参照]をクリックします。

6. インストールが開始されます。「ハードウェアのインストール」が表示されます。「続行」をクリックします。

Windows 2000のとき：
「はい」をクリックします。

Windows ME/98SEのとき：
「インストールウィザード完了」が表示されます。
手順9へ進んでください。

7. 「インストールウィザード完了」が表示されます。「完了」をクリックします。

8. コンピュータを再起動するかどうか聞かれたら、「今すぐコンピュータを再起動します」オプションを選び、「完了」をクリックします。

9.コンピュータを再起動します。これでCS Series Viewer のインストールは終了です。

2 CS Series Viewerの起動

1.「スタート」メニューから「プログラム」→「CS Series Viewer」をクリックします。

2.CS Series Viewerが起動し、以下の画面が表示されます。

3 CS Series Viewerの基本操作

CS Series Viewerは本製品を総合的に管理できるマネージメントソフトウェアです。CS Series Viewerを使うことで、映像のプレビュー、システム設定とカメラの設定、カメラの検索などができます。

CS Series Viewerは使いやすさを重視したユーザーフレンドリーなインターフェースが特徴です。以下に各操作ボタンについて説明をします。

■　CS Series Viewerのコントロールパネル

最小化

コントロールパネルを最小化します。

閉じる

コントロールパネルを閉じます。

データ再生

録画されたデータのファイルを選択し、再生します。

スキャン

LAN内のネットワークカメラをスキャンし、一覧を表示します。

マルチウィンドウ

複数の映像画面を同時に単画面で表示します。

ヘルプ

「バージョン情報」
CS Series Viewerの情報を表示します。

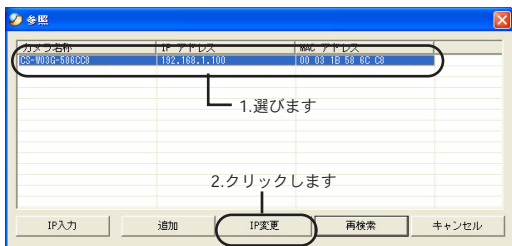
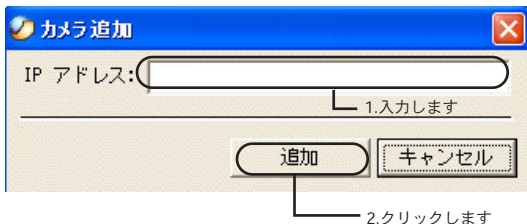
「ヘルプ」
CS Series Viewerコントロールパネルの説明を表示します。

3-1 ネットワークカメラの追加

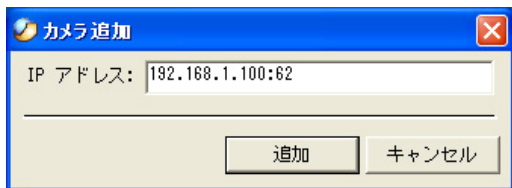
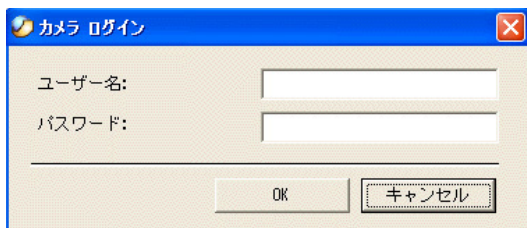
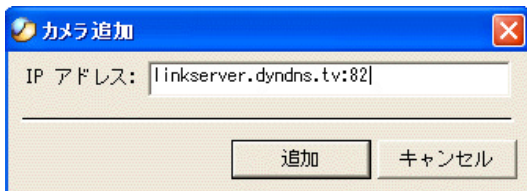
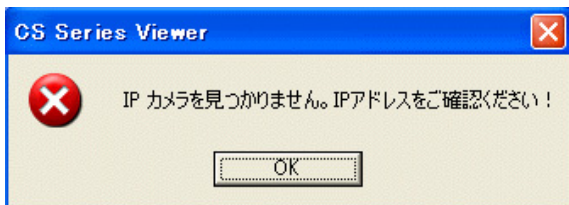
カメラの追加

新規にネットワークカメラを追加したいときは、「カメラの追加」ボタンをクリックします。

1.「参照」が表示されます。次の①、②のいずれかの方法でカメラを追加します。

①追加したいカメラを選び、[追加]をクリックします。

②[IP入力]ボタンをクリックし、表示される[カメラ追加]ダイアログボックスにカメラのIPアドレスを入力します。[追加]をクリックします。

注意

●インターネット経由でカメラを追加する場合はグローバルIPアドレスを入力する必要があります。

カメラは異なるネットワークにインストールされてあり、かつカメラの「セカンドポート使用」機能とゲートウェイの「ポートフォワーディング」機能が有効な場合は、ゲートウェイのIPアドレスとともにポート番号を入力する必要があります。

また、ゲートウェイのIPアドレスをURLに置き換えることができます。

入力したIPアドレスが正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

2.管理者によりWEB設定画面で「ユーザー名」と「パスワード」の登録がおこなわれたときは、「カメラログイン」ダイアログボックスが表示されます。「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

カメラ ログイン
ユーザー名:
パスワード:
OK キャンセル

3.カメラが追加され、画像が映し出されます。

注意

●一度に1台のカメラのみ追加できます。

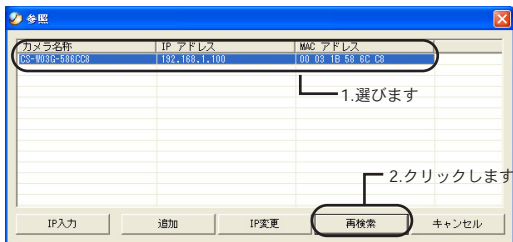
4.カメラが追加されたら、コントロールパネルにカメラの操作用に「カメラのIP設定」、「接続/切断」、「カメラの削除」、「情報」の4つのボタンが表示されます。他にも「カメラの設定」および「動作検知」、「スケジュール設定」、「手動設定」ボタンが表示されます。

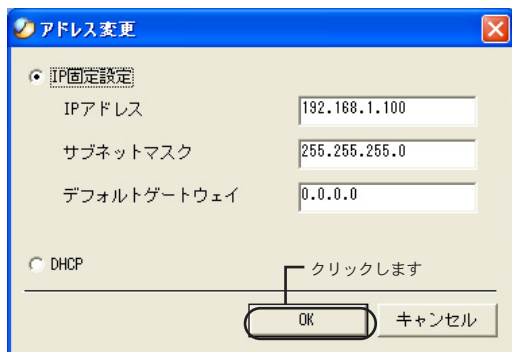
3-2 ネットワークカメラのIPアドレス変更

カメラのIPアドレス設定

注意

- *「カメラのIP設定」には管理者のみアクセスできます。*

1ネットワークカメラのIPアドレスを変更したいときは「カメラのIPアドレス設定」ボタンをクリックします。以下のダイアログボックスが表示されます。IPアドレスを変更したいカメラを選び、「IP変更」をクリックします。

2.管理者によりWEB設定画面で「ユーザー名」と「パスワード」の登録がおこなわれたときは、「カメラログイン」ダイアログボックスが表示されます。「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

3.「アドレス変更」が表示されます。ご利用のネットワークに合わせて「IP固定設定」または、「DHCP」を選びます。「IP固定設定」を選んだときは「IPアドレス」、「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力します。「OK」をクリックします。

3-3 ネットワークカメラの接続 / 切断

ネットワークカメラの接続

カメラを追加した時点で映像画面が表示され、オンライン状態になります。「接続/切断」をクリックすると、カメラのオンライン/オフライン状態を切り替えることができます。

映像画面では以下のボタンが表示されています。

最小化

ネットワークカメラの映像画面を最小化します。

最大化

ネットワークカメラの映像画面を最大化します。

閉じる

ネットワークカメラの映像画面を閉じます。

最前面に表示

ネットワークカメラの映像画面を常に最前面に表示します。「最前面に表示」を解除するには、再度このボタンをクリックします。

コントロールパネル復元

コントロールパネルを閉じた場合に、再度開いて表示します。

色の編集

映像の色を編集します。「明るさ」「コントラスト」「色相」を0～128の範囲で調節します。「色の編集」を解除するには、再度このボタンをクリックします。

イベントリスト

ネットワークカメラのイベントリストを表示します。
リストを閉じるには、再度このボタンをクリックします。

スナップショット

ネットワークカメラの映像をスナップショットします。ボタンをクリックするとスナップショットします。Jpeg画像の保存先を指定し、[保存]をクリックすると画像が保存されます。

画像回転

ネットワークカメラの映像を回転させせます。ボタンを押す度に「90°」「180°」「270°」に映像が回転します。

ネットワークカメラの切断

オンライン状態で再度「接続/切断」をクリックするとオフライン状態に切り替わり、ネットワークカメラを切断します。

CS-W03G-586CC8

192.168.1.100

3-4 ネットワークカメラの削除

ネットワークカメラの削除

1.コントロールパネルから削除したいカメラを選び、「カメラの削除」ボタンをクリックします。

2.カメラがコントロールパネルから削除されます。

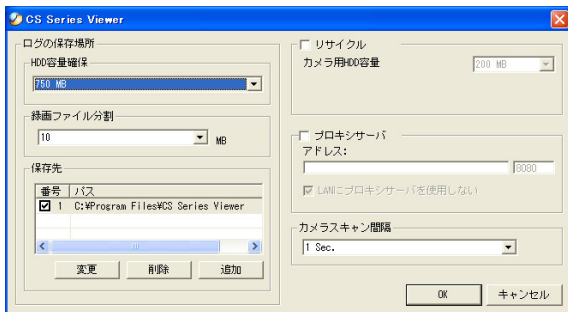
3-5 情報

カメラ情報

本製品の型番、ハードウェア/ファームウエアバージョンなどの情報を表示します。

3-6 システムパラメータ設定

システム設定

コントロールパネルの「システム設定」ボタンをクリックすると以下の設定画面が表示されます。

■　ログの保存場所

「HDD 容量確保」
録画ファイルの保存先のハードディスクの空き容量を確保します。500MBから1000 MBまでのメモリサイズを割り当てることができます。リサイクル(下記参照)の「カメラ用HDD容量」と組み合わせて設定してください。初期設定は750MBです。

「録画ファイルの分割」
映像の保存ファイルのサイズを指定することができます。ファイルが設定されたサイズに達すると、映像が自動的に次のファイルに録画されます。つまり、録画ファイルがここで設定した容量ごとに分割されます。設定可能なファイルのサイズは10 MBから 50 MBまでです。初期設定は10MBです。

■　保存先

「追加」をクリックし、映像の保存先のパスを指定します。指定の場所にカメラ名称のフォルダが作成され、録画された映像が保存されます。保存場所は16のパスまで指定できます。

■　リサイクル

本機能を有効にすることにより、エンドレスで録画することができます。「リサイクル」にチェックマークをつけて、一回の録画の映像容量を200MBから50000MB(50GB)まで200MB単位で設定します。設定した容量に達すると、古いデータが自動削除され、新しいデータによって上書きされます。初期設定は200MBです。

■　プロキシサーバ

プロキシサーバを使用する場合はこのオプションを選びます。「アドレス」にプロキシサーバのURLを入力します。LANにおいては、プロキシサーバを使用したくないときに「LANにプロキシサーバを使用しない」オプションをオンにします。

■　カメラスキャン間隔

設定した間隔ごとに、各カメラをフル画面で表示させることができます。設定可能範囲は1秒から20秒です。

3-7 ネットワークカメラの設定

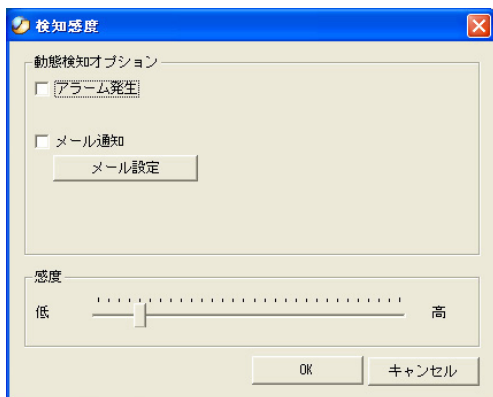
カメラ設定

コントロールパネルの「カメラ設定」ボタンをクリックすると、カメラ設定用に「WEBから設定」、「動体検知」、「ファームウエアアップデート」の3つのボタンが表示されます。

WEBから設定

コントロールパネルの「WEBから設定」をクリックすると本製品のWEB設定画面が起動します。詳しくは第4章「WEBブラウザからの設定」をご参照ください。

検知感度

「動体検知オプション」や「感度」を設定し、「動体検知」機能と組み合わせで使用することができます。

注意

●ユーティリティを終了したときは、「アラーム発生」および「メール通知」のチェックマークは外れます。

■　動体検知オプション

「アラーム発生」
このオプションを有効すると、映像の動きを検知したときにビープアラームが鳴ります。

「メール通知」
このオプションを有効にすると、映像の動きを検知したときにメールにて通知が送られます。メールの設定は、以下の手順でおこないます。

「メール設定」
ボタンをクリックします。「メール設定」ウィンドウが表示されますので、各項目を入力します。

■　感度

動体検知の感度を設定します。感度は30段階で設定できます。
感度を高く設定すると、動きに対して、より敏感に反応します。

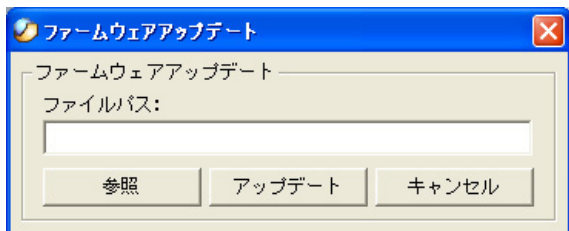
・「メールサーバ」
プロバイダから提供されているSMTPサーバアドレスを入力します。
・「送信元」
送信元のメールアドレスを入力します。
・「送信先」
宛先のメールアドレスを入力します。
・「件名」
メールの件名を入力します。
・「ユーザー名」
プロバイダから提供されているメールアカウントのユーザ名を入力します。
・「パスワード」
プロバイダから提供されているメールアカウントのパスワードを入力します。
・「間隔」
メール送信の間隔を秒単位で設定します。

ファームウエアアップデート

本製品のファームウエアのアップデートをおこなうことができます。弊社のホームページには、常に最新のファームウエアを掲載しています。現在のファームウエアバージョンより新しいファームウエアが弊社のホームページ上に掲載されているときはアップグレードすることをお勧めします。現在のファームウエアバージョンの確認は「第4章　WEBブラウザからの設定」の「4-5　アップグレード」を参照してください。

1.事前に弊社ホームページから最新のファームウエアをダウンロードし、ハードディスクに保存します。

http://www.planex.co.jp/support/download/

2.コントロールパネルの「ファームウエアアップデート」をクリックします。「ファームウエアアップデート」が表示されます。

3「参照」をクリックして保存したファームウエアファイルを指定します。「開く」をクリックします。

4ファームウエアアップデートが終了したら「カメラ情報」ボタンをクリックし、表示されるファームウエアバージョン(F/W Ver.)が最新のものになっていることを確認します。

3-8 録画の設定

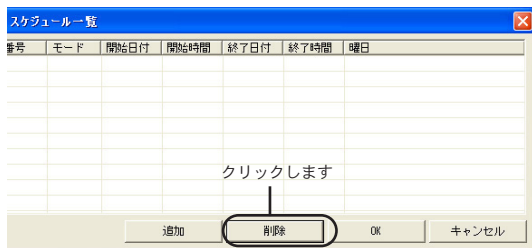
録画の開始は、「動体検知」、「スケジュール設定」、「手動設定」の 3 つの方法によっておこなうことができます。

■動体検知

動体検知ボタンをクリックすると、動体検知が開始します。カメラ映像が被写体の動きを検知すると、録画を開始します。「検知感度」機能をあわせて利用することによって、メール送信アラームやビープアラームを設定したり、感度のレベルを調整することができます。

■スケジュールの設定

録画はあらかじめ設定した曜日・時間帯に開始、終了します。コントロールパネルの「スケジュール設定」ボタンをクリックします。

ウィンドウが表示されますので「追加」をクリックします。

録画の開始/終了の日付を指定できる「日付指定」オプションあるいは録画の開始/終了の時間と曜日を設定できる「曜日指定」オプションを選びます。設定が完了したら、「OK」をクリックします。

■手動設定

録画の開始と終了を手動でおこないます。
手動設定ボタンをクリックすると録画が開始します。再度ボタンをクリックすると録画が終了します。

7. 他のコンピュータから本製品の映像を見る

1. ハブやスイッチ経由でLAN内のカメラとして使うとき

ブラウザを起動し、「アドレス」に「http://xxx.xxx.x.xxx」と本製品のIPアドレスを入力して〈Enter〉を押してください。設定画面と共にカメラが映している映像がWEBブラウザ上に表示されます。

2. ルータを介してインターネット上に公開したいとき

ADSLや光接続の環境でブロードバンドルータ(以下BBルータ)を使用してインターネットからカメラにアクセスさせたいときは、BBルータ側でインターネットからのアクセスをLAN上のコンピュータへ転送する機能(「ローカルサーバ機能」や「ポートフォワーディング機能」や「静的マスカレード機能」等と呼ばれます)を使って、外部からのアクセスをカメラに転送する設定が必要になります。

ここでは弊社製品「BRL-04FMX」を使って公開するときの設定例をご紹介します。(本製品のIPアドレスは出荷時のままと仮定します。)

2-1. BBルータの設定画面にアクセスします。

2-2.「ルータ設定」を選び「NAPT」をクリックします。

2-3.「静的マスカレード」の「静的マスカレードの追加」ボタンをクリックします。

2-4. 各項目を以下のように設定します。

静的マスカレードID:任意の番号を設定します。

プロトコル:TCP&UDP
リモートIPアドレス:*
リモートポート:*
外部IPアドレス:WAN側ポートIPアドレス
外部ポート:80
内部IPアドレス:192.168.1.100
内部ポート:外部ポートと同じ

2-5. ［設定］をクリックします。
以上でBBルータの設定は完了です。

インターネットからアクセスするときは、WEBブラウザの「アドレス」にBBルータが取得しているWAN側IPアドレスを指定してください。
（例: http://21.11.7.10）
その際、設定画面にアクセスさせたくないときは56ページ「3-6.ユーザの設定」を参考に、あらかじめユーザアカウントを作成して、アクセス時に決められたユーザ名とパスワードでアクセスしてください。

BRL-04FMX以外のBBルータについては、ご利用のBBルータのマニュアルをご参照ください。

「複数のCS-W03Gを接続するときの設定」

ここでは弊社製品「BRL-04FMX」を使ってインターネットに接続している環境で、本製品を複数設置してインターネットからアクセスさせるときの設定例をご紹介します。

カメラ側の設定

2-6. 本製品の設定画面にアクセスして「設定」の「ネットワーク」画面の「IPアドレス」と「セカンダリポート」の番号を重複しないように、それぞれ設定を変更してください。

例:
CS-W03G 1台目
IPアドレス: 192.168.1.100、 HTTPポート: 80

CS-W03G 2台目
IPアドレス: 192.168.1.101、 HTTPポート: 81

CS-W03G 3台目
IPアドレス: 192.168.1.102、 HTTPポート: 82

カメラと同じネットワーク上のコンピュータからカメラにアクセスするときは「例 http://192.168.1.102:82」のように、カメラのIPアドレスの最後にポート番号を追加してアクセスしてください。

ブロードバンドルータ側の設定

また、ブロードバンドルータ環境でインターネットから複数のカメラにアクセスするときは、「2ルータを介してインターネットに公開したいとき」で紹介しているようなポート転送の設定をカメラの台数分行う必要があります。
BRL-04FMXの静的マスカレードを使ったときの設定例を記載します。こちらを参考にご利用のルータの該当機能の設定を行ってください。
各カメラのIPアドレスとポート番号は下記の設定例をもとに説明します。

1台目IPアドレス	192.168.1.100 ポート80
2台目IPアドレス	192.168.1.101 ポート81
3台目IPアドレス	192.168.1.102 ポート82

2-7. ルータの設定画面にアクセスします。

2-8.「ルータ設定」を選び「NAPT」をクリックします。

2-9. 「静的マスカレード」の［静的マスカレードの追加］を
　　クリックして、各項目を以下のように設定します。

●1台目用の設定

静的マスカレードID:任意の番号を設定します。

プロトコル:TCP&UDP

リモートIPアドレス:*

リモートポート:*

外部IPアドレス:WAN側ポートIPアドレス

外部ポート:80

内部IPアドレス:192.168.1.100

内部ポート:外部ポートと同じ

●2台目用の設定

静的マスカレードID:任意の番号を設定します。

プロトコル:TCP&UDP

リモートIPアドレス:*

リモートポート:*

外部IPアドレス:WAN側ポートIPアドレス

外部ポート:81

内部IPアドレス:192.168.1.101

内部ポート:外部ポートと同じ

●3台目用の設定

静的マスカレードID:任意の番号を設定します。

プロトコル:TCP&UDP

リモートIPアドレス:*

リモートポート:*

外部IPアドレス:WAN側ポートIPアドレス

外部ポート:82

内部IPアドレス:192.168.1.102

内部ポート:外部ポートと同じ

2-10. インターネットからそれぞれのカメラにアクセスする場合。WEBブラウザの「アドレス」にBBルータが取得しているWAN側IPアドレスと、アクセスしたいカメラのポート番号を指定してください。1台目のカメラにアクセスするときは、

「例: http://21.11.7.10」　もしくは

「例: http://21.11.7.10:80」

となります。2台目のカメラにアクセスするときはIPアドレスは同じで最後の「:」以降の番号を変更します。

「例: http://21.11.7.10:81」

3台目のカメラにアクセスするときは

「例: http://21.11.7.10:82」となります。

8. 携帯電話から本製品の映像を見る

携帯電話から本製品の画像を閲覧するためには本製品がインターネット経由で接続できる環境が必要になります。

1.携帯電話から本製品のURLを入力しインターネット接続をおこないます。URLは本製品のアドレスに『/IMAGE.JPG』を加えたものとなります。
例)http://xxx.xxx.xxx/IMAGE.JPG

2.本製品の設定でユーザアクセスコントロール(56ページ参照)が有効になっているとき、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。ユーザアクセスコントロールが無効になっているとき、直接URLを入力することで画像をご覧いただけます。

3.携帯電話で画像の再読み込みを行うことで画像が更新されます。

注意

●*携帯電話からカメラの設定変更、操作等は行えません。*
●*ブラウザの仕様、画像表示形式がサポートされていない一部の携帯電話ではご利用いただけません。*
●*携帯電話を使用しての画像確認はパケット料金、通信費が発生いたします。ご利用の際は十分にご注意ください。*
●*JPEG画像のみ閲覧できます。動画を閲覧することはできません。*

付録 A. ネットワークカメラQ&A

1.ネットワークカメラの特徴

Q ネットワークカメラって、何ですか？本製品の特徴は…？

A　ネットワークカメラはイーサネット(100BASE-TX/10BASE-T)、 またIEEE802.11b/IEEE802.11g規格の無線ネットワークに直接接続できる、インターネット対応型のカメラです。本製品は従来のコンピュータへ取り付けるWEBカメラとは異なり、内蔵CPUによる独立したシステムを使用し、高品質なビデオ映像を送信、モニターすることができます。本製品はコンピュータからインターネットを経由してリモートアクセス・コントロールできます。簡単なインストール手順と、WEBベースの設定画面は、様々な用途に対応でき、コストパフォーマンスに優れたビデオモニタリングが構築できます。

Q 最大何ユーザ数まで同時に本製品にアクセスできますか？

A　最大64ユーザまで同時にアクセスできます。しかし同時に多数のユーザがログオンすると、転送速度などのパフォーマンスが低下します。10ユーザ程度を目安にしてください。

Q デジタル画像の圧縮にはどんな形式が使用されていますか？

A 本製品の画像圧縮にはJPEG形式が用いられています。
JPEG形式は最も一般的な圧縮形式の一つで、様々なWEBブラウザやアプリケーションで、特別なソフトのインストールなしに展開することが可能です。

Q 本製品の無線転送距離はどのくらいですか？

A 最大で室内で100m、屋外で300mです。しかし壁や天井、ご利用環境により異なる場合があります。

2.ネットワークカメラの設置

Q: 屋外での使用は可能ですか？

A 本製品は屋外用ではないため、屋内での使用をお勧めします。

Q どのようなLANケーブルが必要ですか？

A: 100 Base-TX/10 Base-T対応、カテゴリ5 ケーブルをお使いください。

Q コンピュータに直結するWEBカメラとして利用できますか？

A: いいえ、本製品はイーサネットへ接続するカメラです。コンピュータへ接続する際はネットワーク経由になります。

Q 本製品はプライベートIPアドレスのみを持っている場合に、ネットワークに接続できますか？

A 本製品はプライベートIPアドレスのみ使用する場合はLANで使用が可能です。

Q ファイアウォールのあるネットワークで使用できますか？

A: 本製品をブロードバンドルータなどのファイアウォール設定のあるネットワークの下で使用するときは、ローカルサーバの設定を有効にするなどセキュリティ設定の変更が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

付録 B. pingコマンド

特定のIPアドレスはアクセス可能かどうかがping というコマンドで確認することができます。

pingコマンドは、指定のIPアドレスにパケットを送信し、その応答によってアドレスに通信可能か調べることができます。また本製品が他のIPアドレスと重複していないかの確認にも使用します。

以下は、pingコマンドの使い方を説明します。

1. WindowsのDOSウィンドウを開きます。

XP：
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

2000：
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

98/SE/Me：
「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」

2.　DOSウィンドウからpingコマンドを入力します。下記の例を参照下さい。

C:¥> ping 192.168.1.100　　　<Enter>

①キーボードから入力　　　②Enterキーを押す。

192.168.1.100は本製品のデフォルトIPアドレスです。

3.Pingコマンド入力後、下記のようなメッセージが表示されれば正常に動作しています。

Reply from 192.168.1.100

上記以外のメッセージが表示される場合は、IPアドレスに誤りがあるか、IPアドレスが重複している可能性がありますので、ネットワーク管理者にご相談下さい。

付録 C. トラブルシューティング

Q1　本製品をWEBブラウザからアクセスできない。

A1 IPアドレスの割り当てかたに問題があります。

本製品に割り当てられたIPアドレスがすでに他のデバイスに設定されています。本製品をネットワークから切断し、PINGコマンドを実行してください。
(付録Bをご参照ください)

A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。

本製品には「192.168.1.100 」というIP アドレスが出荷時に設定されており、本製品にアクセスするにはコンピュータのIPアドレスも、先頭から 3 つ目までの数字グループが「192.168.1.**」というIP アドレスではなければなりません。
まず、pingコマンド(付録Bを参照)をおこなってみて下さい。
“no response”または同様な返信がある場合、不正常ですので、以下にしたがってIPアドレスを確認してください。

■Windows2000/XP の場合
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選びます。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーをクリックします。

3.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Windows98SE/ME の場合
1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選び、「名前」→「WINIPCFG 」と入力し「OK 」をクリックします。

2.「IP 設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLAN カードに変更します。

3.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Macintosh　Xの場合：
1.アップルメニューから「システム環境設定」→「ネットワーク」を選びます。

2.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Macintosh　8.x〜9.x の場合：
1.アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選びます。

2.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。（**には任意の数字が入ります）。

もし異なるIPアドレスである場合は、一時的にコンピュータのIPアドレスを「192.168.1.xxx」に変更します。
その後、本製品のIPアドレスをご使用のLANのアドレスと同じセグメントに変更し、最後にご使用のコンピュータのIPアドレスを元に戻してください。IPアドレスの変更方法は、ご使用のOSのヘルプをご参照ください。

A3 LANケーブルに問題があることも考えられます。

一度ケーブルを他のものと交換してみて下さい。また、本製品とコンピュータをクロスケーブルで直結してみてください。それでも問題が解決しないければ、本体の故障の可能性がありますので、販売店にお問い合わせ下さい。

Q2 Pwr LEDが点灯しないのですが。

A 電源に問題がある可能性があります。

付属のACアダプタを使用していますか？また、コネクタはきちんと差し込まれていますか？

Q3 Lnk LEDが点灯しないのですが。

A1 LANケーブルに問題がある可能性があります。

LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。それでも点灯しないときは、LANケーブルを交換してみてください。

A2　本製品が接続されているハブやスイッチに問題がある可能性があります。

全ての機器の電源は入っていますか？LANケーブルが正しく接続されていますか？

A3　無線接続に問題がある可能性があります。

アドホックモードでは本製品とコンピュータのチャンネル番号、およびSSIDが同じであるか確認して下さい。
インフラストラクチャモードでは、本製品およびコンピュータのSSIDと、アクセスポイントのSSIDが同じである必要がありますので、確認して下さい。

Q4　ローカルネットワーク上では使用できるのに、ネットワークの外部に出ると使用できなくなります。

A1　ファイアウォールが原因の可能性があります。

ネットワーク管理者にご相談下さい。

A2　デフォルトルーターの設定が原因の可能性があります。

ネットワーク管理者にご相談下さい。

Q5　映像の縦方向に白い線が入るのですが。

A　CMOSセンサーの特性で、太陽光や強い電灯光がレンズはCMOSセンサーの故障の原因になりますので、日陰など直接光の当たらない場所にカメラを移設して下さい。

Q6　映像がぼやけているのですが。

A1 ピントが合っていない可能性があります。

レンズ先端のフォーカスリングを回して、ピントの調節を行って下さい。

Q7　映像にノイズが多いのですが。

A1　撮影場所が暗い場合には、映像にノイズが発生します。

その場合は照明を使用するなど、明るさの改善が必要です。

A2　無線電波の干渉が考えられます。

本製品以外に無線機器が使用されていないか確認して下さい。

Q8　映像の画質が悪いのですが。

A　本製品の映像設定に問題がある可能性があります。

WEB設定画面の「設定」ー「イメージ」画面で画質の調整をおこなってみてください。

Q9　WEBブラウザで映像が開けないのですが。

A　ActiveXが無効になっている可能性があります。

Internet Explorerを使用している場合は、インターネットオプションでActiveXが有効になっているか確認して下さい。また、映像を開くのにJava Appletを使用することが可能です。

付録 D. ファームウエアアップデート

本製品のファームウエアアップデートは、以下の二通りのおこない方があります。いずれかの方法でおこなってください。

1.WEBブラウザを使って本製品の設定画面からおこなう。
→「第4章 WEBブラウザからの設定」を参照してください。

2.ユーティリティソフトCS Series Viewerからおこなう。
→「第6章 CS Series Viewerインストールと操作」を参照してください。

注意

●*ファームウエアアップデートの際には、必ず有線LANで接続されたコンピュータからファームウエアアップデートをおこなってください。*

付録 E. Setup Wizard について

本製品では、Setup Wizardを使って本製品の設定をおこなうことができます。「第4章 WEBブラウザからの設定」にて本製品の設定を説明していますので、ここでは操作の概略を説明します。

すでに設定が完了して本製品が稼動しているときは、Setup Wizardを使って設定する必要はありません。

1.コンピュータのCD/DVD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

2.起動画面の「セットアップウィザードインストール」をクリックします。

3.「SetupWizard Setup.exe」をダブルクリックし、インストールします。

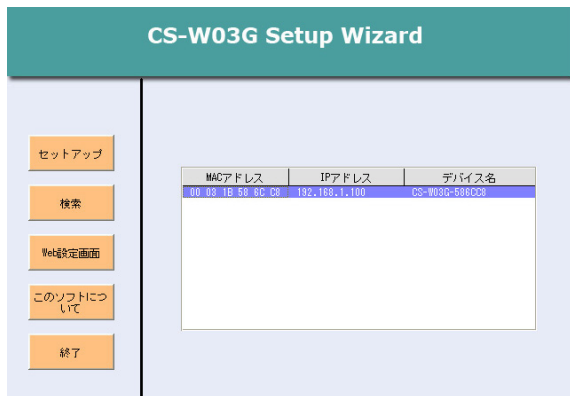
4.「スタート」-「プログラム」-「CS-W03G Startup Wizard」をクリックします。

▼

メニュー画面が表示され、本製品が自動的に検索されます。

CS-W03G Setup Wizard

セットアップ
検索
Web設定画面
このソフトについて
終了

MACアドレス	IPアドレス	デバイス名
00 03 1B 58 6C C8	192.168.1.100	CS-W03G-586CC8

「セットアップ」
本製品の設定がウィザード形式で開始します。

「検索」
ネットワークに接続している本製品が検索されます。

「Web設定画面」
WEBブラウザが起動し、ホーム画面が表示されます。

「このソフトについて」
ソフトのバージョンなどが表示されます。

「終了」
Setup Wizardを終了します。

付録 F. 仕様

品名		IEEE802.11b+g 有線/無線LAN両対応ネットワークカメラ
型番		CS-W03G
カメラ部仕様	撮像素子	1/4インチ カラーCMOSセンサ
	レンズ	f:6.0mm、F:1.8
	画素数	30万画素
	解像度	640×480、320×240、160×120pixel
	ホワイトバランス	自動
	ゲインコントロール	自動
基本機能	画像圧縮方式	JPEG
	フレームレート設定	自動、20、15、7、5、1（フレーム/秒）
	画質設定	コントラスト、ブライトネス、サチュレーション
	画像送出機能	FTP、E-mail
	ネットワーク設定	固定IPアドレス、DHCPクライアント、PPPoEクライアント
	セキュリティ	ユーザアカウント管理機能（最大登録数:64）
	ダイナミックDNS	DynDNS.org
無線部	対応規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
	チャンネル数	IEEE802.11b:13（1～13ch） IEEE802.11g:13（1～13ch）
	周波数（中心周波数）	IEEE802.11b:2.4GHz帯（2,412～2,472MHz） IEEE802.11g:2.4GHz帯（2,412～2,472MHz）
	伝送速度	IEEE802.11b:11/5.5/2/1Mbps、自動認識 IEEE802.11g:54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、自動認識
	伝送方式	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散（DSSS方式） IEEE802.11g:直交波周波数分割多重（OFDM方式）
	アンテナ	ダイポールアンテナ
	アクセス方式	インフラストラクチャモード、アドホックモード
	セキュリティ	WEP（64/128bit）、WPA-PSK（暗号化方式:TKIP）
有線部	対応規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）
	ポート構成	LANポート×1（RJ-45コネクタ）:10BASE-T/100BASE-TX、AutoMDI/MDI-X
	伝送速度	10/100Mbps
	ネットワークケーブル	UTP/STP LANケーブル 10Mbps:カテゴリ3以上、100Mbps:カテゴリ5以上
ハードウェア仕様	LED	Pwr、Lnk
	電源電圧	DC5V
	消費電力	最大5W
	外形寸法	72（W）×44（H）×136（D）mm（アンテナ部除く）
	重量	165g（本体のみ）
	動作時環境	温度:5～40℃ 湿度:35～85%（結露なきこと）
	保存時環境	温度:-20～50℃ 湿度:5～90%（結露なきこと）
	取得承認規格	VCCI Class B
その他	各種設定	WEBブラウザ
	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE（日本語版）
	保証期間	1年間

■注意事項

※アドホックモードでの利用はIEEE802.11bに限られます。また、セキュリティはWEPのみとなります。

※表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※本製品は、屋内撮影を専用とした使用を奨励するものです。直射日光の当たらない場所へ設置の上、ご利用頂けます様お願い致します。カメラに照度の高い画像が取り込まれた場合、画像が正しく表示されない、あるいはカメラの部品を破損する恐れがありますので、ご注意願います。

※ダイナミックDNSの利用は､事前にアカウントの登録が必要です。サービスの詳細は、それぞれのサイトをご覧ください。

※本製品は、防水・防滴仕様ではありません。

※専用ユーティリティはWindows XP/2000/Me/98SE(日本語版)でのみ使用できます。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※有線/無線は排他利用となります。

最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)をご参照ください。

ユーザ登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザ登録をお願いしております。ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入
弊社製品のご購入は、販売店様またはPLANEX DIRECTまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。
〈PLANEX DIRECT〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ
製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。
〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。
〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5766-1615
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。
・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他
その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。
プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、
下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行
FAX：03-5766-1615

送信日：　　　年　　月　　日

会社名		部署名	
名前			
電　話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name	IEEE802.11b+g 有線/無線LAN両対応ネットワークカメラ
型番 Product No.	**CS-W03G**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② OS

OS	SP

③ 質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社